

**ベトナム国ハノイ市で「下水道技術セミナー」と「ワークショップ」を開催
横浜水ビジネス協議会会員企業と協力して
水環境の改善に向けた取組と市内企業等の海外ビジネス展開の支援を推進！**

平成29年12月に開始したJICA草の根技術協力事業^{※1}に伴い、平成30年8月20日から24日にかけて、ハノイ市において水環境の改善に向けた技術協力活動を行いました。

この一環として、平成30年8月23日にベトナム国ハノイ市において、「横浜水ビジネス協議会^{※2}」と協力して「下水道技術セミナー」を開催しました。本セミナーにて、協議会会員企業5社がハノイ市の水環境課題の解決に活用が期待される技術やノウハウを紹介し、関係者から高い関心が寄せられました。

また、8月24日には協議会会員企業6社とともにハノイ市人民委員長を表敬訪問したほか、8月22日及び24日には「下水道技術セミナー」における技術紹介企業5社とハノイ市建設局、本市の三者による現場視察やワークショップを実施し、各企業の現地展開に向けた支援を行いました。

引き続き、横浜水ビジネス協議会と連携して更なる技術協力・海外展開支援を推進することにより、ハノイ市の水環境課題の解決に向けた取組を進めます。

※1 「ベトナム国ハノイ市における下水道事業運営に関する能力開発計画（フェーズ2）」（裏面参照）

※2 横浜水ビジネス協議会：Y-PORT事業の一環として、新興国などにおける水環境に関する課題解決や、市内企業等のビジネスチャンスの拡大を通じて、市内経済の活性化等を目指す横浜市・企業・団体等で構成される協議会

下水道技術セミナー概要

ベトナム建設省、ハノイ市建設局、JICAベトナム事務所をはじめ、日本・ベトナム両国関係者約70名が参加した本セミナーで、協議会会員企業5社が自社の技術やノウハウを紹介しました。

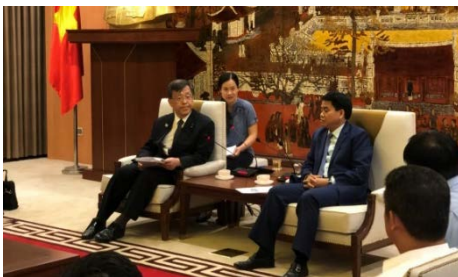
【参加企業（本社所在地）】（下線付きは技術紹介企業）

㈱荏原製作所(東京都大田区)、JFE エンジニアリング(鶴見区)、JFE 環境(鶴見区)、月島機械(東京都中央区)、㈱パスコ(東京都目黒区)、日之出水道機器(福岡市)、ヤスダエンジニアリング(大阪市)、横浜ウォーター(中区)

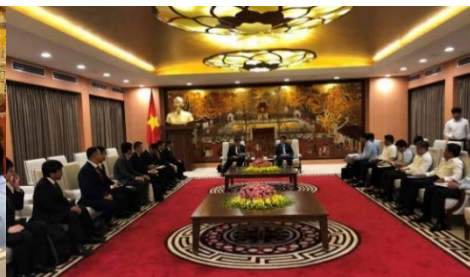


下水道技術セミナー

ハノイ市人民委員会チュン委員長へ表敬訪問



野村局長(左)とチュン委員長の対談



会員企業とともにチュン委員長と記念撮影



野村環境創造局長が、各企業の事業等の紹介を行うとともに、本市及び協議会が公民連携による技術協力を行い、ハノイ市の水環境改善に貢献することで、両市のパートナーシップがさらに強化されることへの期待を述べました。

チュン委員長より、ハノイ市は日本国の中でも特に横浜市を環境分野のパートナーと考えており、ハノイ市の水環境課題の解決に向けて引き続き横浜市からの協力に期待しているとの発言がありました。

【参加企業（本社所在地）】

JFE エンジニアリング(鶴見区)、JFE 環境(鶴見区)、㈱パスコ(東京都目黒区)、日之出水道機器(福岡市)、ヤスダエンジニアリング(大阪市)、横浜ウォーター(中区)

協議会会員企業、ハノイ市建設局、横浜市環境創造局の三者によるワークショップ

ハノイ市の水環境課題の解決に向けて、①「下水処理場の運転維持管理の適正化」、②「汚泥処理計画の策定支援」、③「浸水対策に寄与する下水道台帳の整備」の3分野における技術協力を行うため、8月20日から24日にかけて環境創造局職員10名がハノイ市建設局職員との協議や現場視察を実施しました。また、8月22日及び24日には、「下水道技術セミナー」における技術紹介企業5社も参加し、ハノイ市、企業、本市の三者による現場視察やワークショップを実施し、各企業の技術の現地への適用性等について検討を行いました。

(1) 下水処理場の運転維持管理の適正化



下水処理場の運転維持管理ワークショップ



下水処理について協議



下水処理場の維持管理状況視察

(2) 汚泥処理計画の策定支援



汚泥処理計画ワークショップ



汚泥埋立処分場の現場視察



水路の底泥浚渫作業視察

(3) 浸水対策に寄与する下水道台帳の整備



浸水対策ワークショップ



浸水多発エリアの現場視察



浸水対策工事現場視察

【参考】JICA 草の根技術協力事業「ベトナム国ハノイ市における下水道事業運営に関する能力開発計画(フェーズ2)」の概要

ベトナム国ハノイ市建設局をカウンターパートとして、ハノイ市における**水環境改善や浸水対策に関する技術協力**の実施を通じて、**横浜水ビジネス協議会会員企業のビジネスチャンス拡大**に向けた活動を行っています。

【目標】ハノイ市の事業運営能力が向上し、下水道事業が適切かつ効率的に運用される。

【事業期間】2017年12月～2020年12月(予定)

【活動】

- **環境創造局職員の2～3回/年の現地派遣**
現地調査や関係機関との協議等による現状把握・分析、課題抽出等
- **セミナー、ワークショップの開催**
協議会会員企業との協働によるセミナー等の開催を通じたマニュアル改訂、計画策定等
- **下水道関連施設の視察・研修の実施**
本市の下水道関連技術・ノウハウの理解促進、本市のプレゼンス向上等に資する視察・研修

【成果】

- **下水処理場の運転維持管理の適正化**
新たな運転管理マニュアルによる次期の処理場運転維持管理業務委託が実施される。
- **汚泥処理計画の策定支援**
汚泥処理・有効利用計画が策定され、計画決定権限を有する機関に提案される。
- **浸水対策のための下水道台帳の整備**
パイロットエリアにおいて下水道台帳システムを試作する。

お問合せ先

環境創造局下水道事業マネジメント課担当課長 赤坂 真司 Tel 045-671-2940